



平成30年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年9月1日

上場会社名 株式会社伊藤園 上場取引所 東
 コード番号 2593 URL <http://www.itoen.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 本庄 大介
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 平田 篤 (TEL) 03-5371-7197
 四半期報告書提出予定日 平成29年9月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年4月期第1四半期の連結業績（平成29年5月1日～平成29年7月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年4月期第1四半期	136,451	5.7	6,323	△3.1	6,141	7.3	3,692	3.2
29年4月期第1四半期	129,043	0.7	6,524	52.1	5,722	19.2	3,578	49.6

(注) 包括利益 30年4月期第1四半期 4,166百万円 (146.7%) 29年4月期第1四半期 1,688百万円 (△51.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年4月期第1四半期	30.15	30.07
29年4月期第1四半期	29.14	29.06

(注) 上記の1株当たり情報は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る1株当たり情報については、以下（参考）をご覧ください。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年4月期第1四半期	306,350	138,078	44.7
29年4月期	302,405	136,709	44.8

(参考) 自己資本 30年4月期第1四半期 136,975百万円 29年4月期 135,520百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年4月期	—	20.00	—	20.00	40.00
30年4月期	—	—	—	—	—
30年4月期（予想）	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 上記の配当の状況は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る配当の状況については、以下（参考）をご覧ください。

3. 平成30年4月期の連結業績予想（平成29年5月1日～平成30年4月30日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	264,800	2.6	14,400	0.5	14,000	3.5	9,000	0.9	72.10
通期	492,500	3.5	22,600	3.8	22,000	2.2	14,000	2.2	111.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(注) 上記の連結業績予想における1株当たり情報は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る1株当たり情報については、以下（参考）をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年4月期1Q	89,212,380株	29年4月期	89,212,380株
② 期末自己株式数	30年4月期1Q	512,689株	29年4月期	519,379株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年4月期1Q	88,693,717株	29年4月期1Q	88,676,801株

(注) 上記の発行済株式数は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る発行済株式数については、以下（参考）をご覧ください。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考)

(1) 第1種優先株式に係る1株当たり情報

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年4月期第1四半期	30.15	30.07
29年4月期第1四半期	29.14	29.06

(2) 第1種優先株式に係る配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年4月期	—	25.00	—	25.00	50.00
30年4月期	—				
30年4月期(予想)		25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

(3) 第1種優先株式に係る連結業績予想の1株当たり情報

	1株当たり当期純利益
	円 銭
第2四半期(累計)	77.10
通期	121.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

(4) 第1種優先株式に係る発行済株式数

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年4月期1Q 34,246,962株 29年4月期 34,246,962株

② 期末自己株式数

30年4月期1Q 462,808株 29年4月期 459,928株

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年4月期1Q 33,785,346株 29年4月期1Q 34,136,165株

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、海外経済や政策に関する不確実性の高まりなどを受けて、先行き不透明な状況にあります。企業収益や雇用・所得環境の改善の効果もあり、緩やかな回復基調が続いております。

飲料業界におきましては、消費者マインドに回復の兆しが見られるものの、競合各社による激しい販売競争により、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当グループは経営理念であります「お客様第一主義」のもと、当グループを取り巻く全てのお客様に対し「お客様が今でもなお何を不満に思っているか」を常に考え、グループ一丸となって積極的な事業活動を行ってまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高1,364億51百万円（前年同期比5.7%増）、営業利益63億23百万円（前年同期比3.1%減）、経常利益61億41百万円（前年同期比7.3%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、36億92百万円（前年同期比3.2%増）となりました。

売上高	1,364億51百万円（前期比5.7%増）
営業利益	63億23百万円（前期比3.1%減）
経常利益	61億41百万円（前期比7.3%増）
親会社株主に帰属する四半期純利益	36億92百万円（前期比3.2%増）

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

<リーフ・ドリンク関連事業>

国内においては、茶葉（リーフ）製品につきまして、社員自らが、急須で入れたお茶の実演販売や試飲会などの活動を通して、パック茶の飲用提案を強化してまいりました。特に、渋みや苦味を抑えて茶葉の旨みや甘みをお楽しみいただける「氷水出し緑茶」を積極的に提案し、夏場のリーフ需要を喚起してまいりました。また、プレミアムティーバッグシリーズやパウダータイプのインスタント緑茶など、手軽にご賞味いただける簡便性商品が引き続きご好評をいただいております。

飲料（ドリンク）製品につきましては、主力製品であります「お〜いお茶」において、従来よりも鮮度にこだわり、旨みや甘みといったお茶のおいしいところだけを抽出することで、まろやかなおいしさと香りを一層引き立たせました。当グループでは「茶産地育成事業」を推進しており、主に九州地区において、耕作放棄地を積極活用するとともに、生産性と環境保全を両立した大規模茶園経営のもと高品質で安定した原料調達を実現しております。この「茶産地育成事業」を通じて、栽培から加工まで鮮度にこだわって開発した「お〜いお茶専用茶葉」を使用し、急須で入れたお茶本来の香りとおいしさを追求するとともに、今後も更なるブランド価値向上を図ってまいります。

日本茶・健康茶・中国茶飲料におきましては、ノンカフェイン茶系飲料No.1である「健康ミネラルむぎ茶」が、夏の暑さ対策として、おいしくミネラルと水分補給ができる商品として、好調に推移しております。

コーヒー飲料におきましては、「TULLY'S COFFEE」ブランドシリーズがボトル缶コーヒー市場を牽引する存在として、引き続きご好評をいただいております。

販売活動を取り巻く厳しい経営環境において、主力ブランドの販売強化、更なる原価低減、費用対効果を意識した販売促進費の更なる管理強化、エリア毎の業績管理強化を行い、引き続き収益性の改善に努めてまいります。

チチヤス(株)においては、広島県を中心とした乳類および発酵乳等の積極的な販売に加え、当社との共同開発によるブランドシナジーを拡大しております。また、ネオス(株)は、西日本に強い販売チャネルを持っており、当グループの自動販売機事業に関して、継続的に収益性を高める基盤づくりを行っております。

海外においては、茶葉（リーフ）製品につきまして、「グローバルブランド」で展開する「MATCHA GREEN TEA」の販売により、米国、豪州、東南アジアを中心に積極的な海外展開を行ってまいりました。

飲料（ドリンク）製品につきましては、ITO EN(North America) INC. において、和食や抹茶の世界的ブームや健康志向の高まりを背景に、「お〜いお茶」などの無糖茶飲料が順調に売上を伸ばしております。また、米国を中心にコーヒー豆の栽培から販売までを行うDistant Lands Trading Company, Inc. においては、主要顧客であるフードサービスチェーンへの当グループ製品の販売など、引き続きシナジー効果を追求してまいります。

この結果、リーフ・ドリンク関連事業の売上高は1,267億93百万円（前年同期比5.6%増）となり、営業利益は54億98百万円（前年同期比3.1%減）となりました。

<飲食関連事業>

タリーズコーヒージャパン(株)におきましては、創業20周年記念ドリンク「アイスカプチーノ」やティー系ドリンク類が好調なことに加え、パスタなどのデリカ類やサンドイッチ類につきましても、ご好評をいただいております。また、新規出店も順調に進み、総店舗数は679店舗になりました。

引き続き積極的な投資とあわせて既存店舗の改装などによる活性化を図り、店舗競争力を強化することで、スペシャルティコーヒーショップとしての更なるブランド強化を図ってまいります。

この結果、飲食関連事業の売上高は78億46百万円（前年同期比5.7%増）となり、営業利益は8億41百万円（前年同期比5.2%減）となりました。

<その他>

売上高は18億11百万円（前年同期比14.3%増）となり、営業利益は3億2百万円（前年同期比6.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は次のとおりであります。

【資産】

総資産は3,063億50百万円となり、前連結会計年度末と比較して39億44百万円増加いたしました。主な変動要因といたしましては、「現金及び預金」が87億78百万円減少、「受取手形及び売掛金」が110億62百万円増加、「商品及び製品」が34億25百万円増加したことによるものです。

【負債】

負債は1,682億72百万円となり、前連結会計年度末と比較して25億76百万円増加いたしました。主な変動要因といたしましては、「支払手形及び買掛金」が26億79百万円増加、「未払法人税等」が19億82百万円減少、「未払費用」が30億93百万円増加したことによるものです。

【純資産】

純資産は1,380億78百万円となり、前連結会計年度末と比較して13億68百万円増加いたしました。主な変動要因といたしましては、「利益剰余金」が「親会社株主に帰属する四半期純利益」により36億92百万円増加し、「剰余金の配当」により26億18百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に関しましては、第1四半期連結累計期間における業績の進捗状況及び最近の経営環境等を踏まえ、今回見直しをせず据え置いております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	64,202	55,424
受取手形及び売掛金	54,677	65,739
商品及び製品	30,718	34,144
原材料及び貯蔵品	7,181	7,693
その他	17,978	15,189
貸倒引当金	△99	△93
流動資産合計	174,657	178,097
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	20,987	21,171
土地	21,587	21,577
リース資産(純額)	27,889	27,292
その他(純額)	12,574	14,062
有形固定資産合計	83,039	84,103
無形固定資産		
のれん	18,371	17,910
その他	6,082	5,805
無形固定資産合計	24,454	23,716
投資その他の資産		
その他	20,540	20,717
貸倒引当金	△285	△284
投資その他の資産合計	20,254	20,432
固定資産合計	127,748	128,252
資産合計	302,405	306,350
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,061	35,741
短期借入金	2,364	2,468
リース債務	8,995	8,529
未払費用	25,297	28,390
未払法人税等	4,490	2,507
賞与引当金	3,549	1,767
その他	3,802	5,561
流動負債合計	81,560	84,967
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	47,433	47,060
リース債務	13,468	12,771
退職給付に係る負債	9,455	9,589
その他	3,778	3,884
固定負債合計	84,135	83,305
負債合計	165,696	168,272

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年7月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,912	19,912
資本剰余金	18,644	18,640
利益剰余金	102,750	103,814
自己株式	△1,983	△1,975
株主資本合計	139,323	140,392
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,133	2,461
土地再評価差額金	△6,053	△6,053
為替換算調整勘定	747	774
退職給付に係る調整累計額	△629	△598
その他の包括利益累計額合計	△3,802	△3,416
新株予約権	66	88
非支配株主持分	1,122	1,014
純資産合計	136,709	138,078
負債純資産合計	302,405	306,350

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成29年7月31日)
売上高	129,043	136,451
売上原価	68,660	73,218
売上総利益	60,383	63,232
販売費及び一般管理費	53,858	56,909
営業利益	6,524	6,323
営業外収益		
受取利息	11	11
受取配当金	38	40
持分法による投資利益	14	40
その他	138	139
営業外収益合計	202	232
営業外費用		
支払利息	235	184
為替差損	659	111
その他	109	118
営業外費用合計	1,004	413
経常利益	5,722	6,141
特別利益		
固定資産売却益	0	1
特別利益合計	0	1
特別損失		
固定資産廃棄損	8	3
投資有価証券売却損	0	—
投資有価証券評価損	0	—
減損損失	20	13
災害による損失	32	—
特別損失合計	61	16
税金等調整前四半期純利益	5,662	6,125
法人税等	1,995	2,353
四半期純利益	3,666	3,772
非支配株主に帰属する四半期純利益	87	79
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,578	3,692

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年5月1日 至 平成28年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年5月1日 至 平成29年7月31日)
四半期純利益	3,666	3,772
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△44	284
繰延ヘッジ損益	17	—
為替換算調整勘定	△1,966	37
退職給付に係る調整額	33	31
持分法適用会社に対する持分相当額	△17	41
その他の包括利益合計	△1,977	393
四半期包括利益	1,688	4,166
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,672	4,079
非支配株主に係る四半期包括利益	16	87

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自平成28年5月1日至平成28年7月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	合計
	リーフ・ドリンク 関連事業	飲食関連事業	その他	合計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	120,038	7,421	1,584	129,043	—	129,043
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	83	4	671	759	△759	—
計	120,122	7,425	2,255	129,803	△759	129,043
セグメント利益	5,672	888	284	6,845	△321	6,524

(注) 1 セグメント利益の調整額は、のれんの償却額△370百万円、セグメント間取引49百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成29年5月1日至平成29年7月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	合計
	リーフ・ドリンク 関連事業	飲食関連事業	その他	合計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	126,793	7,846	1,811	136,451	—	136,451
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	79	4	755	840	△840	—
計	126,873	7,851	2,567	137,291	△840	136,451
セグメント利益	5,498	841	302	6,642	△319	6,323

(注) 1 セグメント利益の調整額は、のれんの償却額△374百万円、セグメント間取引55百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。